

10月14日、体育の日に開催された出雲駅伝の救護班として、応急手当普及員の資格を持ったボランティア員6名が活動しました。各中継所では次々とゴールする選手の状態のチェックや救護が行われ、ボランティア員は医師・看護師のサポートとして懸命に対応しました。



事業所において災害時、重要な役割を担う自衛消防隊員を対象とした教育研修が、8月27日、28日の二日間、島根県消防学校で行われました。当協会からは3会員事業所4名の参加があり、教官から講義や指導を受け、知識と技術のレベルアップを図りました。内容の一部をご紹介します。今後の参加希望等ございましたら事務局へご連絡ください。

基本行動/防火防
災管理に関する講義
/119番通報、避難誘
導、消防隊への情報
提供要領/消火実技
/消防用設備等の
取り扱い 他



訓練用AEDを貸し出します(無料)

このたび、訓練用AEDを新たに購入しました。応急手当普及員がいらっしゃる事業所の皆さんには是非ご活用ください。併せてリトルアン(訓練用人形)、マットのセットも貸し出しますので事務局までお気軽に問い合わせください。



| 試験日 | 試験場所 | 受付期間 | 試験種類 |
|----------------------|-------------|--|----------------|
| 第1回 6月7日(日) | 松江・大田・益田 | 書面申請 4月6日(月)~4月20日(月) 電子申請 4月3日(金)~4月17日(金) | 甲種 乙種 丙種 |
| 第2回 6月14日(日) | 出雲・浜田・隠岐 | | |
| 第3回 11月1日(日) | 出雲・大田・益田 | 書面申請 8月24日(月)~9月7日(月) | 丙種 |
| 第4回 11月8日(日) | 松江・浜田・隠岐 | 電子申請 8月21日(金)~9月4日(金) | |
| 第5回 令和3年 2月7日(日) | 松江・大田・益田・隠岐 | 書面申請 12月7日(月)~12月21日(月) | 乙種 乙種 丙種 |
| 第6回 令和3年 2月14日(日) | 松江・出雲・浜田 | 電子申請 12月4日(金)~12月18日(金) | |

「令和」は英語で「beautiful harmony」というそうです。昨年は、相次いだ災害からの復旧、ラグビー日本代表の一貫した姿など、日本人がもつ「美しい・調和」が様々な場面で表現されました。

今後の活動を通して、「美しい・調和」のとれた「安全安心の出雲」を実現すべく、本年も一丸となって邁進いたします。

事務局一同

夏休み消防一日体験学習

7月31日、夏休み消防一日体験学習が消防本部で開催され、小学生73名が様々な体験をとおして防火・防災について学習しました。熱中症予防のお話を聞いた後、救助隊員の降下訓練や本物の火を消す実演の見学、煙、放水、地震等を体験した後、昼食にアルファ米のカレーライスを食べました。消防士と目を輝かせて触り合っている様子から、消防の仕事に関心を持ち、そして夏休みの楽しい思い出になったことを感じました。



出雲市幼年・少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会

12月7日に消防本部で指導者研修会が開催され、保育関係者や女性消防隊員33名の参加がありました。出雲市内外で防災の普及啓発活動をされている「いつもTogether」の野津寛延氏から、東日本大震災被災地支援活動と島根県西部地震についてのお話を聞いた後、水害対策のハザードマップを活用したワークショップが行われ、机上での防災訓練に取り組まれました。



出雲市防災安全協会



第27回消防競技大会の様子



年頭のご挨拶

出雲市防災安全協会 会長 岡田 達文

令和2年の新春を迎え、会員の皆様には謹んで年頭のご挨拶を申しあげます。

また、平素より当協会の運営につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

昨年の7月、石川前会長の退任に伴い、会長に就任いたしました岡田達文でございます。その責務の重さを実感し、微力ながら、当協会発展のため最善の努力を尽くす所存でございます。

さて、昨年は火災等の人为的な災害や、台風、地震などによる自然災害が各地で発生しました。

特に京都市伏見区で発生した爆発火災では、危険物は、私たちの生活になくてはならない身近なものであると同時に、取り扱い方法によっては大きな事故につながり、その被害が社会に与える影響は計り知れないものがあると感じさせられました。

また、自然災害については、台風15号と19号が相次いで東日本へ上陸し、暴風による被害や河川の氾濫及び堤防の決壊などによって甚大な被害が生じました。

近年、台風などの広域的な豪雨だけでなく、線状降水帯などによる局所的な集中豪雨などにより、日本各地で、1時間の降水量や連続雨量が過去最高を更新し続けています。

さらに今後、南海トラフを震源とした巨大地震などの発生が予測されており、あらゆる災害に対する備えの重要性がますます高まっています。

このような状況から、多様な災害の未然防止と被害の軽減のために、防災安全思想の普及、啓発など様々な活動を通して、地域の安全・安心の一助を担うべく、一層の防災安全事業を推し進める覚悟でございますので、今後とも会員の皆様の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

最後になりますが、本年が皆様にとって素晴らしい年になることをご祈念申しあげ年頭のご挨拶とさせていただきます。

連絡先

出雲市防災安全協会 事務局
(出雲市消防本部内)

住所: 出雲市渡橋町 253 番地 1

電話: 0853-21-6922

E-mail: bouankyou@izumo119.or.jp

印刷/株式会社オリジナル



消火競技大会

10月2日、第27回消火競技大会が今市町一の谷公園多目的広場で開催され、会員事業所が消火器の操作技術を競い合いました。火災による被害を最小限に食い止めるため、迅速・的確な初期消火の重要性は言うまでもありません。選手の皆さんは多忙な業務の中、練習された成果を十分に発揮されました。この大会は毎年秋に開催され、事前の講習会も行われますので、皆さんのが参加を是非お待ちしています。

男子の部(25チーム参加)

優勝 株式会社出雲村田製作所
準優勝 島根県農業協同組合出雲地区本部ラピタ
第3位 ヒカワ精工株式会社A
個人賞
指揮者 ヒカワ精工株式会社 A
1番員 島根県農業協同組合出雲地区本部ラピタ

女子の部(11チーム参加)

優勝 島根県農業協同組合出雲地区本部ラピタ
準優勝 株式会社フクダ
第3位 株式会社出雲村田製作所
個人賞
指揮者 株式会社出雲村田製作所
1番員 株式会社フクダ

優勝チームにインタビュー

男子の部 株式会社出雲村田製作所

指揮者 松尾 淳吾さん(写真左)
1番員 中澤 昭人さん(写真右)

転びかけたので、優勝できて驚きました。スピードでは負いている部分はありました。動作には自信がありました。会社には防爆工程があるので、もし火災があった場合は、すぐ対応できるようにしたいです。

女子の部 島根県農業協同組合出雲地区本部ラピタ

指揮者 有藤 優希さん(写真左)
1番員 長崎 京夏さん(写真右)

優勝は意外でびっくりしました。とれちゃったという感じです。実際に火事になつたら一番に動きます。

受賞おめでとうございます! 県危連表彰受賞

島根県危険物保安協会連合会定例表彰式が6月26日、浜田市のいわみーるで行われました。これは、危険物関係事業所の安全管理推進への取り組みにおいて、顕著な功績のある会員事業所と個人を表彰するもので、県内15事業所と19名が受賞され、当協会からは次の皆さんが受賞されました。

続いて、防災・危機管理アドバイザー 林繁幸氏の「安全安心の原点を考える~自然災害は天災、被害拡大は人災~」と題した講演会がありました。様々な過去の災害事例を挙げて、結局は“危機管理能力=気配り”であり、「安全は与えられるものではなく、自分から作り出すものである」と話され、日々の心がけの大切さを感じました。

事業所の部

サン電子工業株式会社出雲工場(写真左)
有限会社武志屋ホテル武志山荘(写真中央)

個人の部

日本通運株式会社出雲支店 田中 健児(写真右)
株式会社ナンバホームセンター出雲ドーム店 渡辺 正実



(敬称略)

10/24・10/25

先進地視察研修報告

兵庫県内にある地震関連の3施設を視察しました。改めて大地震の凄まじさを感じ、いつ起きてても不思議ではないといわれる巨大地震に対する心得や備えについての知識を深めました。



南あわじ市

福良港津波防災ステーション

淡路島南端の低地で高齢化が進む福良港周辺は、過去の津波被害の経験から防災意識が非常に高く、その拠点となる施設の機能や地域の取り組みについて伺いました。



「備える・伝える・逃げる・学ぶ」の施設

淡路市

北淡震災記念公園

阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震で現れた野島断層がありのままに保存、展示されており、地震の破壊力と脅威を実感しました。



野島断層保存館

神戸市

人と防災未来センター

新設された津波避難体験コーナーでは、押し寄せる津波からの避難がどれだけ困難か、装置を使って体感しました。



津波避難体験コーナー

◆◆◆◆ 参加された方からご感想をいただきました ◆◆◆◆

Q1 何が印象に残りましたか? Q2 今後どのような備えが必要でしょうか?



山陰防災電機株式会社
浜村 公之さん

A1 備えがあっても決して万全は無いということを学びました。福良港津波防災ステーションは、想定される津波の高さに対応できるよう避難場所+学びの場として設計、建設されたものの、後に津波の想定が更に高くなり、避難場所の機能が失われたとのことでした。想定はあくまで目安であって、いつ想定外の災害が起こるかもしれないという構えが大切と思いました。



KB ツヅキ株式会社
出雲工場
森廣 真也さん

A1 北淡震災記念公園「野島断層」です。地震発生当時自身も消防団員として淡路島に住み、現在は公園の総支配人である米山さんから当時の話をお聞きした後に見る野島断層や体験館で地震を体験すると、地震のエネルギーの大きさや自然の脅威をより一層感じる事が出来ました。



イワタニ山陰株式会社
出雲支店
影山 真司さん

A1 人と防災未来センターが、震災から24年経った現在でも多くの人が来館し、子供の学習や災害時のための知識をつける施設としての役目を果たしていることに驚きました。単なる箱物施設ではなく、震災の記憶と記録を残し、また将来起こりうる災害の被害を減らすためという明確な目的を持ってうまく運用されていると感じました。

A2 ハザードマップを参考に想定できる範囲の備えは、会社でも住宅でも今まで以上の準備が必要ですが、備えだけでなく万が一の場合に「伝える」ことや「逃げる」ことを定期的に会社や家族の中で話し合っておくことが必要と感じました。

A2 災害に備え、災害を学ぶ事が肝要だと感じました。各施設で得た知見、また他の災害事例などを参考に当社の防災計画を見直す必要があると思いました。

LPガス製造施設の事故対応訓練

12月10日、出雲市今市町 松江石油株式会社出雲営業所にて、出雲市消防本部と合同で事故対応訓練が行われました。

「LPガスをボンベに充填中、ボンベのバルブを閉め忘れ、離脱作業を行ったために、LPガスが顔面に噴出し、負傷したもの。」という事故の想定でした。

119番通報、バルブの閉鎖、周囲への広報など、事故の初動対応の訓練が迅速かつ的確に行われました。

訓練に参加された方は、「日頃から営業所の訓練をしているが、今回の合同訓練で緊急時の施設に関する対応や、事故の際の対応について詳しく確認できました。今後も高圧ガスの取り扱いに関する保安意識をさらに高めたい。」と語られ、さらなる保安技術の向上を図られました。

